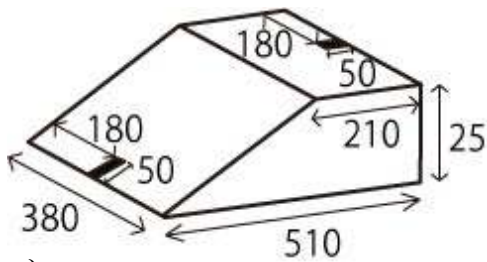


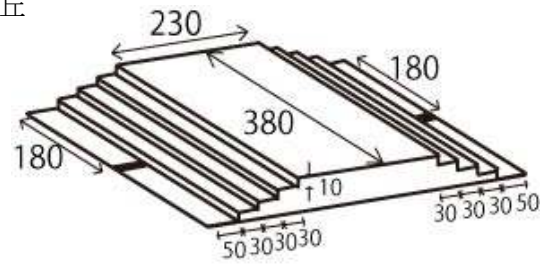


- 1) コートは2370mm×1150mmの大きさで、白色を基調としている。黒線は幅18mm。黒丸の直径は100mm。
- 2) スタートエリアとゴールエリアは400mm×370mmの大きさである。
- 3) 中央の壁は長さ1540mm、高さ50mmの大きさ。三角柱は2辺が120mmの直角二等辺三角形で、高さは100mmの大きさ。
- 4) ゲートのような柱が2本ある。柱の直径は缶と同じサイズ。
- 5) AからFまでの6つのゾーンがあり、510mm×380mmの大きさである。ゾーンには坂道やトンネルといった課題がある。ゾーンの障害物はイメージとしてa)からg)に示す様なものである。障害物の詳細は競技会当日に発表される。

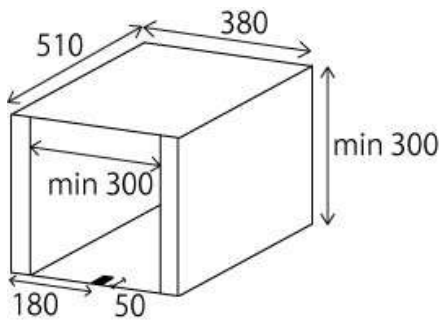
a)坂道



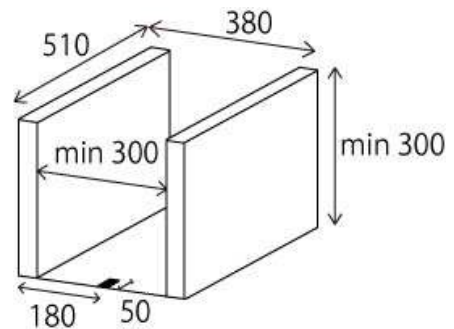
b)丘



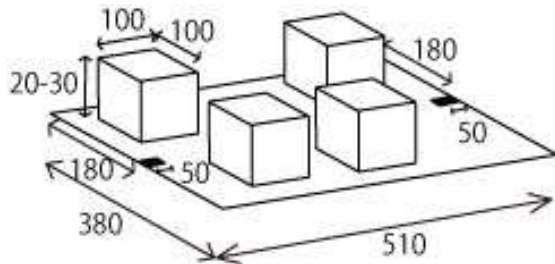
c)トンネル



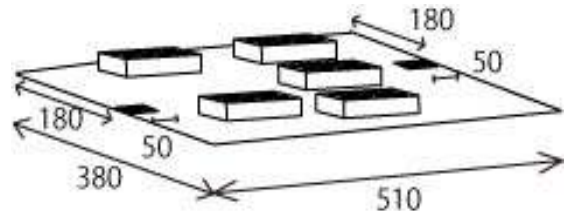
d)狭い道



e)沼地



f)さざ波

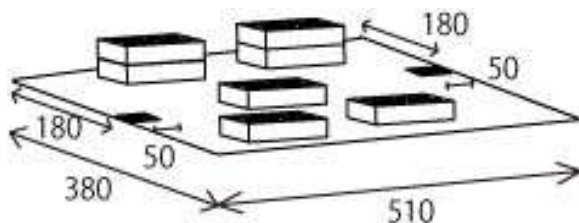


スポンジの色は様々で、位置はランダムである。

ブロックは2×4の高さ約11mm。

色は様々で、位置はランダムである。

g)荒波



ブロックは2×4の高さ約11mmの5つのブロックで構成されている。最大2段のブロック構成。色は様々で、位置はランダムである。

6) 障害物はコートに固定されている。

7) ターゲットは缶で、最大重量は345gである。缶の重さは大会当日 朝に発表される。

## 2. 競技ルール

- 1) 競技は2分間（120秒）でおこなう。
- 2) ロボットはスタートエリアからスタートする。スタート前にはロボットのどのパーツもスタートエリアから出てはいけない。
- 3) ロボットはスタートエリアからスタートし、ゲートを通過してターゲットにチャレンジする。途中6つのゾーンを通過し、再びゲートを通過してゴールエリア（＝スタートエリア）に向かわなければならない。
- 4) ターゲットの落下順序は決められている。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ。

落下させる順により得点が変わる。得点は以下の6種類となる。

Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ 30点

Ⅰ→Ⅲ 20点

Ⅱ→Ⅲ 20点

Ⅰ 10点

Ⅱ 10点

Ⅲ 10点

- 5) ゾーン通過の順序は決められている。A→B→C→D→E→F→G。

## 6) 定義：

1. ゲート通過：ロボットの全てのパーツがゲートを通過すること。
2. 落下：ロボットは三角柱上からターゲットを落とすこと。
3. ゾーン通過：ロボットが侵入したゾーンの辺からその対辺へ抜けること。

## 3. 得点

ミッションポイントと時間ポイントがある。

### 1) ミッションポイント

- －1. ゲート通過ポイント（最初のみ） 10点
- －2. コーナのターゲットを倒す（3か所） 各10点
- －3. ゾーン通過ポイント（6か所） 各10点

### 2) 時間ポイント

スタートしてからゴールするまでのかかった時間（秒）をミッションタイムとして、競技時間（120秒）から引いたものを時間ポイントとする。ゲートを通過しなかった場合は0ポイントとなる。

時間ポイント＝120秒－ミッションタイム

ロボットが競技を途中でリタイアや時間オーバーになった時は、完了しているミッションポイントが得点として与えられる。